

口腔外科研修医マニュアル —指示表編—

1. 注意事項

- ・コンピューターでオーダーできないもの（安静度、バイタルサインチェック、蓄尿、処置、麻薬、持参薬等）については指示表(doctor's order sheet)を書く。
- ・指示は要点を簡潔に書く。〇〇可、〇〇禁、〇〇開始、〇〇中止など。
- ・指示は指示表に書くだけでなく、薬剤類は指示表に記載した通りにオーダーする。
- ・指示表に書いた指示は、必ず担当の看護婦さんに口頭でも伝えること。
- ・中止するものは中止だけで良い場合が多いが、開始するものは、いつから開始するかを明記する。
- ・継続指示を中止する場合には、通常の指示で〇〇中止と指示し、継続指示の該当部を線で末梢する。
- ・長期入院が予想される場合には、継続指示の欄を大きく（用紙の右半分）確保する。
- ・3～4日間程度の期間の指示は期間を明記し、通常の指示として行う。長期にわたるものは継続指示として行う。
- ・時間は24時制で記載する。便宜上××時を××°で表す。
- ・輸血、麻薬、死亡退院についての記載は赤い字で行う。
- ・朝昼夕の分量（主として本数）を便宜上（1-1-1）と表す。
- ・看護婦サイドで用量を変更できるものについては、「適宜増量可」と指示することもできる。

2. 通常の指示

項目	解説と指示例
入院	予約入院の場合、入院の日時と方法を記載する。 例) 独歩入院 例) 護送入院 例) 担送入院 例) 緊急入院
手術	手術を行う場合に記載する。食止めの指示も併せて行う。 例) 9:00 手術 例) on call で緊急o p e 朝より絶飲食(NPO) *no per os, nothing by mouth(NBM)
ムンテラ	例) 19:00 ムンテラ Dr. 〇〇 *Mundtherapie
外出・外泊	外出・外泊の予定を記載する。 例) 〇月〇日〇時より〇月〇日〇時まで外泊 外泊時、ボルタレン錠25mg 2錠×5回分 例) CVカテ抜去後、外出可 *central venous catheter
内服薬	内服薬（持参薬）の開始・中止を指示する。 例) 朝よりセフゾン100mg 3C/3×開始 例) 持参薬一時中止 例) 持参薬指示あるまで中止(DC) *DC:discontinue 投薬中止 例) 持参薬再開

化学療法	化学療法開始・中止の指示を行う。嘔気時の指示も併せて行う。 例) 化学療法開始 (chemo 開始) *chemotherapy 嘔気時 ①プリンペラン10mg 1A iv ②上記無効時 セロトーン 10mg 1A iv ③上記無効時 ナウゼリン 60mg 坐薬 尿量 CBDCA(+)の日 800ml/6hr ↓ Dr. call UFT のみの日 1000ml/day ↓ Dr. call
検査	コンピューターオーダー以外の検査を指示する。 例) 朝、採尿 例) 採血 (末血、生化) 例) 便採取 例) 蓄尿中止
画像診断	CT・MRIについての指示をする。撮影前の食止に注意。 例) AM10:00- MRI撮影 朝食禁 例) 緊急CT申し込み。食止めの指示は放射線部より連絡待ち。
点滴	点滴の変更を指示する。 例) 23° より IVH本体 60ml/hr へ
酸素投与	酸素投与の開始・中止の指示を行う。酸素吸入は一種の与薬であり、 医師の指示によってなされる。 例) O ₂ 3リットル朝まで 例) O ₂ 中止
安静度	患者の状態に合わせて安静度を指示する。
1) 一般的な安静度	例) 絶対安静(CBR) *CBR:complete bed rest 例) ベッド上安静 *安静臥床、床上安静も同じ。 例) ギャッチアップ30° 可 *gatch up 例) 歩行器可 例) 車椅子可 例) 病室内フリー 例) 病棟内フリー 例) 院内フリー 例) 十分覚醒後フリー
2) 気切孔閉鎖術	例) 発声禁
3) 再建を含まない場合	部分切除術、植皮術等においては、基本的にはベッド上安静とし、 手術侵襲、覚醒状態等により、歩行可能、病棟内フリーとする。
4) 頸部郭清術のみ	基本的には十分覚醒後歩行可、病棟内フリーとする。手術侵襲によ っては、ベッド上安静とする。 例) 頸部過伸展禁であるが、頸部の固定は必要なし。
5) 有茎皮弁による再建術	基本的には24時間ベッド上安静とする。2～3日後位より歩行可。 部位によってはフラップチェックを要する。 例) 頸部過伸展、過屈曲、圧迫禁
6) 遊離皮弁による再建術	挿管していない場合、基本的には48時間ベッド上安静とし、3日 後より順次ギャッジアップを行う。教授回診時、処置室への移動は、 車椅子を目標とする。付随してフラップチェックを行う。 例) 頸部過伸展、過屈曲、圧迫禁

7) 腸骨移植術	腸骨採取部位に配慮し、左側臥位禁とする。基本的には、72 時間ベッド上安静とする。 6cm×2cm 以上：強安静指示、72 時間ベッド上安静 5cm×1.5cm 以下：弱安静指示、1～2 日ベッド上安静 体重荷重制限の目安は、4～7 日は車椅子、7～14 日は 1/4 荷重、10～20 日は 1/2 荷重とする。 例) 左側臥位禁
8) 前腕皮弁移植術	例) 左手挙上
9) 口腔上顎洞瘻閉鎖術	例) 鼻を強くかむこと禁 サクシオンは鼻腔内にあまり深く入れないでください。
一般手術の術後検温	I コース：全身的に問題がない患者 例) 検温（帰室時、3°、6°、～通常） II コース：基礎疾患がある、やや長時間手術、顎間固定 例) 検温（帰室時、1°、2°、4°、6°、～通常）
CV	CV 挿入予定のある時、必要な器材等を指示する。 例) 10:00 CV 挿入予定 16G 30cm アーガイルシングルカテーテルを用意して下さい。 局麻 0.5%キシロカインE+ 例) 15:00 CV 抜針
処置	各種の処置を指示する。 例) 膀胱洗（火、金）2 回/週 例) 舌離開部にアクリノールガーゼ貼布 例) ドップラーチェック中止
介助	例) ○月○日～○月○日朝まで夜間のみ SpO ₂ モニター 介助が必要な場合について指示する。介助を行う時を明記する。 例) 含嗽介助 蒸留水にて下向きで含嗽。処置および巡回時のみ。
経口摂取	経口での食事や飲水について指示する。 例) 飲水（水、お茶）可 例) 経口摂取可
食事	食事の変更を指示する。食事を中止した場合、内服薬があれば、その指示を併せて行う。 経過良好であり、看護婦サイドに食事の判断を任せる場合は「適宜食上げ可」「適宜増量可」等を加える。 例) 朝より口外 5 分開始。適宜食上げ可。 例) 昼食禁、内服薬可。 例) 内視鏡のため昼より N.P.O.（絶飲食） 例) 昼食後 MS 抜去、夕より経口摂取開始。
入浴	例) エンシュアリキッド 2 can / 2 ×、朝夕（1-0-1）開始 入浴についての指示をする。創部の安静を考慮する。 例) 入浴可（BRP） *BRP:bath room privileges 例) シャワー可 例) 創部防湿の上、シャワー可
経管栄養	経管栄養の指示をする。 例) 朝処置時 MS 挿入 *Magensonde 挿入後、アイソカル 200ml 経管栄養開始 例) 朝食後、MS 抜去

交差用採血	輸血に先立ち、交差用採血を指示する。できるだけ他の採血がある時に同時に採血する。
輸血	例) 交差用採血 赤字で記入する。 例) MAP 2unit/12hr 輸血 例) FFP 8unit/ 8hr 輸血
麻薬	赤字で記入する。経口投与の場合には、時間を指示する。 例) 塩酸モルヒネシロップ 120mg 水 up to 60ml / 6 ×、2日分 (18° , 22° , 2° , 6° , 10° , 14°) 例) 塩酸モルヒネ注 60mg 生食 up to 48ml 16° ~ 2ml/hr 24hr 持続 i v 例) アンペック坐薬 3日分 6° (50mg)、22° (100mg)
併診	コンピューターで入力できなかった併診の指示を行う。その場合の理由を明記する。 例) 15:00 神経科 Dr. ○○併診 ただし、予約一杯につきコンピューター上の併診は未入力。
ターミナルケア 退院	例) DNR *do not resuscitate(急変時に心肺蘇生しないの意) 午前退院か午後退院を明記する。 例) 午前退院 例) 昼食後退院 (午後退院) 次回外来 ○○年○月○日 ○○時○○分 外来担当 Dr. ○○ 退院処方 ○○○○3錠 / 3 × ○日分 例) 退院延期

3. ICUより病棟帰室時の指示

項目	解説と指示例
ICUより帰室時の指示 1) Vital sign check 2) BS check Sliding Scale 3) US/UK check 4) Flap check 5) O ₂ 6) 安静度	この時点から新しい指示表にするとよい。手術に応じた安静度を指示する。 例) Vital sign check (6°, 12°, 18°, 0°) BP 180 < アダラート1c 鼻腔内投与 80 > Dr. call KT 38.5°C ↑ ボルタレン坐薬50mg HR 50 >, 120 < Dr. call RR 5 >, 30 < Dr. call Urine 100ml/3hr ↓ Dr. call 例) BS check 6hr 毎 Sliding Scale BS HR S.C. 201~250 2U 251~300 4U 301~350 6U 351~400 8U 201 < Dr. call 例) US/UK check 朝夕 再建術施行後、皮弁のチェック（フラップチェック）を指示する。 最初は短い間隔で行い、徐々に長くする。 0~24h : 1hr 毎 24~48h : 2hr 毎 48~72h : 3~4hr 毎 3~5日 : 6hr 毎 6~10日 : 各勤1回~処置時のみ 例) Flap check 2hr 毎 フラップ色 白色貧血様 or 暗紫色 Dr. call ドップラー音 微弱化 or 聴取不能 or 異常音 Dr. call 圧迫試験にて異常所見 Dr. call 例) O ₂ 投与 4リットル 35% 例) 安静度 ベッド上安静 左手挙上（前腕皮弁の場合） 頸部過伸展、過屈曲、圧迫禁（皮弁による再建術後の場合） ただし、頸部動かさないように体動可。

4. 継続指示

項目	解説と指示例
疼痛時	鎮痛消炎剤を投与する。 例) ボルタレン 25mg 1-2錠 or ボルタレン坐薬 25-50mg 例) ロキソニン 60mg 1錠 例) セデスG 1g 1包 P.O. (経口) ノイエルと一緒に服用。 例) ルート確保時 ロピオン 50mg 1A iv 例) レペタン 0.2mg 1A im
発熱時	クーリングや鎮痛消炎剤を指示する。 *cooling 疼痛時とまとめて1項目としても良い (fever up 38.0°C ↑ or at pain)。何°C以上と明記する。 例) ボルタレン坐薬 25-50mg 例) 38.5°C-39.5°C クーリング 39.5°C以上 メチロン 250mg 1A im
不眠時	眠剤の指示を行う。 例) リスミー 2mg 1錠 例) ハルシオン 0.25mg 1錠
便秘時	モルヒネ投与時などに指示する。 例) プルゼニド 12mg 2錠 眠前 例) ラキシベロン 10滴 眠前 毎日 適宜増量可 例) テレミンソフト坐薬 10mg 例) GE (グリセリン浣腸) 120ml 例) 無効時の処置を続けて指示することもある。 4/1 プルゼニド 12mg 2錠 眠前 4/2 朝、排便無き時、ラキシベロン 10滴 4/2 ラキシベロン無効時、テレミンソフト坐薬 10mg 4/2 テレミンソフト無効時、GE 120ml
嘔気時	化学療法時などに指示する。 例) プリンペラン 5mg 1錠 例) プリンペラン 10mg 1A iv 例) カイトリル 3mg 0.5A-1A iv (40ug/kg) 例) セロトーン 10mg 1A iv 例) ナウゼリン坐薬 60mg
含嗽	含嗽薬の処方と用法を指示する。 例) 適宜イソジンガーグル含嗽 例) 適宜アクリノール含嗽 例) 適宜ウォーターピック
持参薬	継続する持参薬を列記し、その用法を指示する。 例) 持参薬続行 アセナリン細粒 7.5g / 3× セルベックス 1.5g / 3× ガスター 0.5g / 1×
蓄尿	化学療法時、熱性疾患、腎疾患、腫瘍切除即時再建術後など水分出納を知る必要のある場合、蓄尿を指示する。 例) 蓄尿

Vital sign check	全身状態の変化により、必要に応じてVital sign checkを増やす。 例) Vital 3検 例) BP 3検 例) BS 1検 昼食30分前
ドクター・コール	vital signの変化によりドクターを呼ぶ指示をする。 例) Dr. call BP < 50 HR < 60, 100< RR < 5, 30< SpO2 < 80 Urine 100ml/3hr fever up 38.5°C↑
BS check Sliding Scale	DM患者のBSコントロールとして行う。 例) BS check 3回/day 毎食前30分値 例) BS check 6回/day 毎食前30分値、食後2hr値 Sliding Scale BS HR S.C. 200~249 2U 250~299 4U 300~349 6U 350~399 8U 400~449 10U 450<, 60>, Dr. call HR S.C. 後2hr 値再checkし、200mg/dl 以上なら報告。
US/UK check	例) US、UK check (尿糖検査) US(++), UK(+)でBS check、sliding scaleへ。 *US(sugar in urine) *UK(ketone bodies in urine)
手術への配慮事項	手術に対する継続的な配慮事項を指示する。 例) 左手刺入禁
処置	継続して行う処置を指示する。 例) 朝夕、左頸部3倍希釈イソジンS.P. (洗浄) 皮膚用薬等の指示を行う。 例) 口唇にアズノール軟膏を適宜塗布。

第1版 1997. 12. 5

第2版 1998. 4. 25

デンタルオフィスみなと 露木 良治